

令和3年度手話施策推進の取り組みについて

(1) 小学生等のための手話教室

例年、小学生等のための手話教室は、依頼のあった各学校に講師と手話通訳者が訪問し、生徒と手話による対話を通して、聴覚障がい者の日常生活を知り、手話の実技を行い、障がい者理解を深める「やさしいまちづくり事業」の一環となっている。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、各学校と市役所をつないでオンライン開催としたが、今年度は感染対策をとって、各学校に講師と手話通訳者が訪問し対面式により開催している。

また昨年度、中止とした高校生の手話教室は、今年度無事に開催ができた。

【令和3年度 小学校手話教室】

○参加校：6校

(三谷3・4年生、南郷3年生、金明4年生、錦城4年生、河南4年生、庄3年生)

○児童数：144名

(三谷15名、南郷15名、金明16名、錦城54名、河南26名、庄18名)

○講習日程：全8回

○実施期間：令和3年10月～令和4年3月

【令和3年度 高校生手話教室】

○参加校：1校(加賀高校福祉系列2・3年生)

○生徒数：18名(2年生13名、3年生5名)

○講習日程：全7回(2年生4回、3年生3回)

※例年各学年4回だが、3年生の授業カリキュラムの都合により1回減となった。

○実施期間：令和3年10月～令和4年1月

【実施した学校からの声】

(子どもたちの感想)

- ・習った手話を忘れずに、耳の聞こえない人に会ったら手話で話したい。
- ・家に帰って、習った手話を家族に教えた。
- ・手話通訳者になりたいと思った。

(先生の感想)

- ・普段は引っ込み思案なクラスだが、手話はしっかりと発表をしていて、子どもたちの意外な一面を見ることができた。
- ・子どもたちが、なかなか覚えられない時も温かく教えてくださり、楽しく手話の習得できた。